

あれこれ

2021年 第1号-1

米沢支部の村山です。よろしくお願いいたします。

令和3年度・女性委員会事業計画

- 4月 3日 各支部女性委員長会議
- 4月 10日 第1回東北ブロック女性委員会 (WEB)
- 6月 3日 通常総会
- 7月 14日 合同委員会
- 8月~9月 全国女性建築士連絡協議会
- 9月 30日 連合会女性委員会 魅力ある和の空間シート
- 10月 あれこれ1号発行 (米沢支部)
- 11月 13日 第3回建築女子フォーラム
- 10月~11月 青年大会
- 11月 20日、21日 第63回建築士全国大会 (広島県)

令和3年度 役員

ブロック	支部	役員名	役職
1	鶴岡田川	三浦美毅	〇副委員長
1	酒田	川美紀子	
2	米山	古村美由紀	
2	長山	守屋美恵子	
2	天西村	原江仁み	〇会計
3	新庄	三浦美毅	〇委員長
3	山形	大草美恵子	
3	担当理事	小山恵子	



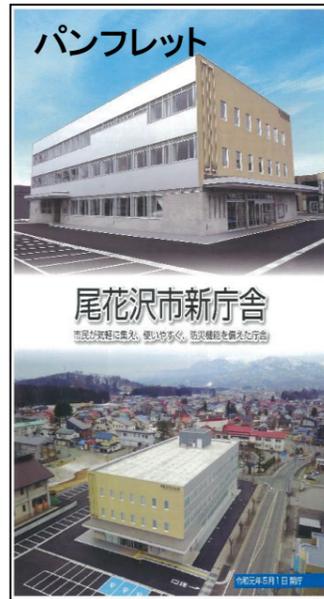
令和3年度 第1回東北ブロック女性委員長会議

令和3年4月10日(土)10:00~

- 全国女性建築士連絡協議会
 - 全国女性委員長会議 令和3年7月17日(土)13:30~ZOOM
 - 全県女福岡 令和3年9月25日(土)9:30~17:30
 - 日程:午前 分科会B分科会コーディネーター(星さん) G分科会発表者(秋田県松橋さん)
 - 被災地報告4県 宮城、福島、長野、熊本 各県15分
 - 午後 ZOOMによる
 - 参加料(登録料)1000円~2000円 冊子代
 - 令和4年度 全国大会秋田PR
 - 全国女性建築士連絡協議会30年記念ポスターセッション
 - 山形支部原田さん渾身のポスターが連合会HPに掲載されています。
 - <https://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/jyosei-iinkai/poster.htm>
- 全国大会広島
 - 日程:令和3年11月20日 中止
- 東北ブロック青年大会
 - 令和3年度開催 令和4年3月予定
- 東北ブロック女性委員会事業
 - 福島大会「思いを紡ぐ~うつくしま福島~」 令和3年10月16日(日)10:00~17:00
 - 延期になりました。8月5日 新型コロナの影響で再度延期 令和4年2月か3月開催 検討



尾花沢市役所再生可能I社* -設備 (雪室) 見学



フロア案内

雪に強く防災機能を備え、誰もが使いやすいコンパクトな庁舎

防災対策 利便性 コンパクト

1F 2F 3F

【1階 窓口】 【市民サロン・バス待合】 【会議室】 【市民開放エリア】 【給湯】

【多目的トイレ】 【執務スペース】 【エネルギー棟・自家発電設備】

建築概要

事業費の概要

防災対策

防災機能の強化

避難所機能の確保

災害時のバックアップ機能

雪対策

シンプルな施設構成と屋根断熱で降雪防止

電力・熱源供給

尾花沢市役所庁舎と雪室

小山 恵子

桜の開花宣言が発せられた酒田を出発して、尾花沢付近に来ると田圃の中にも雪が残っているのが驚いた。そもそも3月中の開花宣言が早過ぎたとも言えるのだろう。例年の役員会は山形市が中心で、尾花沢市で行うことは珍しい。しかも今回は、令和元年に完成した尾花沢市役所が会場なので、二重の楽しみである。プロポーザルで拝見した計画図は、楽しい空間で溢れていた。

尾花沢市役所庁舎は、通常の市役所機能の他、防災センターと保健センターを兼用している。私たちが役員会で使用させて頂いた研修室も、防災研修室と銘打っていた。通常は研修室として、こと災害が発生した場合には、避難施設や救急施設として機能する予定だとか。体育館にダンボールの仕切りを設けて大勢で使用するのではなく、個別に(家族単位でも)プライバシーを保つことができるのは嬉しい。(この辺りの災害対応については、岡山県総社市長さんの方針が面白いので、興味ある方はググって見てね。)

特別に見せて頂いた議事堂は、地元産の杉を仕上げに用いていた。特に家具は羨ましい程の出来である。1-2階のカウンターも同様に作られており、壁クロスなどの無機質の中に杉材家具の温もりが感じられる。

今回のメインの見学は、旧庁舎跡に設けられたエコな冷暖房施設である。市庁舎と道路を挟んだ位置にあり、パイプが道路の下を通過、1階の冷暖房を賄うよう計画されている。雪の尾花沢と呼ばれる豪雪地で、邪魔者の雪を貯蔵し雪室から冷気を庁舎に送る。その雪も、駐車場の除雪で出来た雪山をパワーショベルで切り崩し、雪室に運ぶだけと言う。ロータリー除雪機で雪室の天辺まで飛ばせば、より多くの雪が貯蔵出来るのはと質問したら、雪が汚れるので否だそう。元々雪は、気中の塵に水蒸気がくっついたものだろうと思うのだが。

同施設の半分は、木質ペレットボイラーの空間である。ペレットは尾花沢産ではなく、近隣の真室川町産らしいが、想像していたよりも少ない量で暖房が出来ているようだ。休日にも関わらず、案内して頂いた市役所職員の方や、防災研修室などを開放して頂いた尾花沢市役所にも感謝申し上げます。

小山さんに写真と原稿を頂きました。ありがとうございました。また、発行が遅れご迷惑おかけしました。村山





小屋を支える形の揃った鉄砲梁のアーチが見事→

村山支部の取材記事です

魅力ある和の空間 取材記

山形県尾花沢市「芭蕉清風歴史資料館(旧丸屋・鈴木弥兵衛家)

担当:村山支部 草刈めぐみ、五十嵐理恵

令和2年10月の晴れ間に当該施設を訪問しました。館長さんにあいさつし早速中へ入るとまず、芭蕉が当時日本全国どのルートで何日かけて旅をしたのかパネルが展示されています。



芭蕉が一番長く滞在したのは「栃木県の黒羽と言われますが、一旦離れて戻ってを繰り返しての13泊なので、連泊の最長記録は尾花沢市の10連泊なんですよ。」館長さんの中で、栃木県と張り合う熱い気持ちがあるようでした。私も地元民として「やった！」とひそかにガッツポーズ。



さて、鈴木家の建物は江戸後期から明治のころに建築されたとされ、酒造業のほか紅花、呉服反物など物産全般を取り扱う他、金融業を営む豪商だったとのこと。土蔵造りの店に防火扉に当たる漆喰塗の蔀戸(しとみど)を吊っています。現在は吊り金具に引掛けてあり、開け閉めするところを見せてもらおうにも屈強な男性数人掛かりでもとても無理とお聞きしあきらめました。



↑ 跳ね上げ階段



↑ 囲炉裏を下から見る



↑ 跳ね上げ階段を下から

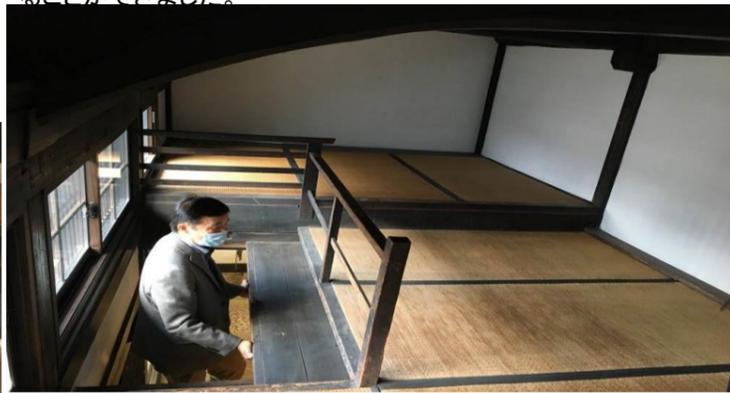


↑板敷の茶の間から和室を見る
↓四座敷中央の置き柱



家族の部屋は、10帖間2室6畳間2室の「田の字型」の間取りで、中央の柱は置き柱になっていて、行事があると取り外して、大部屋にして使ったとのこと。

また、当時は大勢の使用人がおり、跳ね上げ階段を上った2階が従業員室。下から見上げると囲炉裏が突き出ています。2階に上がってみると畳の部屋になっていて、囲炉裏は畳の下に隠れていました。跳ね上げ階段の部分は水平な引き戸を閉めると、暖気が逃げないし、ホントかウソか「従業員が逃げないようにしていたらしい」と、冗談ぽく楽しいお話をお聞きすることができました。



↑ 従業員室(奥の真ん中に囲炉裏がある)水平な扉を閉めて暖かくし



床の間の襖絵は、明治2年に尾花沢に生まれた近代日本画家の東海林僊芳(とうかいりんせんぼう)が描いたもので、繊細でやさしく、私のような素人目にもその良さが伝わる名画です。



芭蕉と清風の歴史もさることながら、建物を見学して江戸時代町家の商人の暮らしぶりに触れることができ、とても貴重な体験になりました。



村山支部さんの魅力ある和の空間の素晴らしい記事でした。レイアウトの関係上配置を調整しましたが、全文紹介いたしました。大変ありがとうございました。

